

## 第6回常任理事会報告

日時 平成18年10月16日(月)午後1時~同2時40分  
場所 日本歯科医師会 801会議室  
出席者 <会長> 江藤一洋  
<副会長> 黒崎紀正、井出吉信  
<総務理事> 住友雅人  
<常任理事> 高津茂樹、川添堯彬、相馬邦道、高木忠雄、  
佐藤田鶴子、土屋友幸、江里口 彰、恵比須繁之、  
赤川安正、栗原英見、荒木孝二  
欠席者 <常任理事> 宮崎 隆  
[議長 江藤会長]

### 1. 開 会

黒崎副会長から、開会の宣言がなされた。

### 2. 挨拶

江藤会長から、挨拶がなされた。

### 3. 報 告

#### (1) 一般会務報告

住友総務理事から、次の資料に基づき一般会務報告がなされた。

一般会務報告(平成18年9月11日~10月15日)

第5回常任理事会報告(平成18年9月11日開催)

#### (2) 会計現況報告

高木常任理事から、次の資料に基づき会計現況報告がなされた。

学会会計(平成18年4月1日~8月31日)

第21回日本歯科医学会学会学術大会会計

(平成18年4月1日~8月31日)

( 3 ) 平成19年度学術講演会の企画について

土屋常任理事から、平成19年度学術講演会の企画について、実施要領に基づき報告がなされた。

( 4 ) 財団法人8020推進財団学術集会第 6 回フォーラム8020について

住友総務理事から、標記について、資料に基づき報告がなされた。

( 5 ) 第94回 F D I シンセン大会報告について

江里口常任理事、江藤会長から、資料に基づき第94回 F D I シンセン大会報告がなされた。

#### 4 . 協 議

##### ・重点計画の推進について

##### 1 . 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

##### 1) 歯科医療協議会の当面の方向性について

「歯周病の診断と治療のガイドライン」の改定検討部会の設置について黒崎副会長から、標記検討部会の設置について諮られ、協議の結果、原案を一部修正（委員10名）の上、全会でこれを了承した。

なお、修正点は、日本小児歯科学会からの推薦委員 1 名を追加し、日本補綴歯科学会からの推薦委員 1 名を削除する。

「有床義歯の調整・指導とブリッジの適応症と設計のガイドライン」の改定検討部会の設置について

黒崎副会長から、標記検討部会の設置について諮られ、協議の結果、名称を「有床義歯の調整・指導及びブリッジの適応症と設計並びにリベースのガイドライン改定検討部会」に改め、修正案（委員 9 名）どおり決定した。

歯科診療報酬の評価・再評価の希望書への対応について

江藤会長から、標記について、次期（平成20年度）診療報酬の改定に向け、標記希望書への対応の必要性が説かれた。

協議の結果、この希望書の対応の一環として、専門分科会に対し、オリエンテーションと個別のヒアリングを実施することを決定した。

## 2) 歯科診療ガイドラインの作成について

江藤会長から、標記ガイドラインの作成の目的については、診療の標準化に向けて診療報酬改定への対策があげられる旨の説明がなされた。本件については、平成19年度に厚生労働省内に設置予定の「歯科診療ガイドライン検討部会」の結論を踏まえ、平成20年度より本学会主導で歯科分野における診療ガイドラインの作成を開始し、平成22年度の診療報酬改定に向けて備えることで合意した。

## 2. 歯科医療技術革新の推進

### 1) 本学会の役割と今後の方向性

江藤会長から、標記について、研究成果を迅速に臨床（歯科医療）現場へ普及できる体制を構築するべく、以下のように説明がなされた。

本学会の役割：医科における内保連の目的を踏まえ、各専門分科会から学術的根拠を収集し、日歯に提出することで、歯科診療報酬の適性化を促進することにある。

今後の方向性：日歯会長のもとで日歯・連盟・学会の三者構成による懇談会を立ち上げ、医科における内保連にかわる、歯保連の体制及び必要性を検討する。

### 2) 歯科医療器材産業ビジョンの作成

江藤会長から、標記ビジョンの作成について諮られ、協議の結果、日歯、本学会及び歯科商工協会の三者構成に、厚労省をオブザーバーに迎え、次の協議会を立ち上げることを決定した。

会議名：歯科医療機器産業ビジョン作成協議会

### 3) 歯科医療器材の開発改良における諸問題（承認・認可等）の検討

江藤会長から、標記について、日本は諸外国より治験のシステムが遅れているため、標記の検討の重要性が説かれた。

### 3．学会機構改革の推進

#### 1)新規加入学会の促進

認定分科会承認基準の策定について

荒木常任理事から、標記基準の策定について、次の資料に基づき説明がなされた。引き続き、認定分科会の制定を関係方面へ周知するため、歯学系学会（非専門分科会）に対するアンケート調査の実施について諮られ、全会一致でこれを決定した。

なお、主旨を明確にする観点から、本学会の本件に関わる進捗状況等を加味した鑑文を挿入することが確認され、文言の一部修正を江藤会長一任とした。

日本歯科医学会認定分科会承認基準について（案）

日本歯科医学会認定分科会承認基準の制定（専門分科会と認定分科会の条文対照表）

日本歯科医学会専門分科会及び認定分科会に関わる助成金・競争的研究資金について（案）

日本歯科医学会認定分科会導入にあたって（案）

歯学系学会（非専門分科会）へのアンケート（案）

#### 2)学術講演会と学術研究の見直し

補助金の見直しについて

学術講演会の見直しについて

江藤会長から、標記については、前回の常任理事会並びに学術研究委員会・学術講演委員会正副委員長合同打合せ会の協議状況を踏まえ、現在鋭意検討中である旨報告がなされた。

### 4．認定医・専門医制度の確立

#### 1)認定医・専門医制審議会の設置の検討

江藤会長から、標記審議会の設置の目的について説明がなされ、今後、具体的に提案する旨の説明がなされ、継続審議とした。

### 5．国際交流の推進

#### 1)本学会と各国対応機関との交流推進

江藤会長から、中華口腔医学会との学術交流協定を本年8月31日に結んだように、他のアジアの歯科医学会との交流を来年度に向け促進し

ていく旨説明がなされ、継続審議とした。

## 2)元日本留学生（歯科関係）のネットワーク構築

江藤会長から、標記について説明がなされ、今後、元日本留学生同士が交流できるよう支援していく旨説明がなされ、継続審議とした。

## 3) F D Iにおける日歯支援体制の構築

江藤会長から、標記については、アジア各国の歯科医学会との学術交流を促進することで、アジアにおける日本の役割の基盤を築き、F D Iにおいて日本の影響力を強化していく旨の意向が表明された。

また、F D Iの下野理事及び神原学術委員会委員と懇談会を開催し、F D Iの情報収集と分析検討を行う旨提案がなされ、全会でこれを承認した。

## . その他

### 1 . 専門分科会資格審査委員会への諮問について

住友総務理事より、標記委員会への諮問について諮られ、原案どおり決定した。

なお、今回の申請学会は9件であった。

また、臨時委員会（専門分科会資格審査委員会）の設置を了承するとともに、委員（9名）並びに担当役員（黒崎副会長、住友総務理事）を確認した。

### 2 . フッ化物洗口剤およびフッ化物洗口液の取り扱いについて

住友総務理事から、標記に関わる問い合わせが日本口腔衛生学会より寄せられた問題について諮られ、黒崎副会長から、本件については行政（厚労省）サイドの判断となるので、行政と相談した上で、対応されたい旨の提案がなされ、全会でこれを了承した。

### 3 . 「人体の不思議展」への後援名義貸与について

住友総務理事から、標記について諮られ、協議の結果、日本医学会と足並みを揃え、本年度は承認するが、次年度は後援名義を貸与しないことを確認した。

#### 4 . 役員派遣について

住友総務理事から、役員派遣について諮られ、次のとおり決定した。

日本歯科理工学会第48回学術講演会懇親会

平成18年10月28日（土）午後6時

ルブラ王山（愛知県名古屋市）

〔出席者〕会長 江藤一洋

日本歯科保存学会第125回秋季学術大会理事懇親会

平成18年11月8日（水）午後6時30分

鹿児島サンロイヤルホテル（鹿児島県鹿児島市）

〔出席者〕会長 江藤一洋

#### 5 . 閉 会

井出副会長から、閉会の辞が述べられた。